

2025 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 コ コ ペ リ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 近 藤 繁
(コード番号：4167 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 コーポレート事業部 馬 庭 興 平
ゼネラルマネージャー
info-ir@kokopelli-inc.com

鹿児島県信用保証協会へ DX 支援ツール「GrpMail」を提供開始

当社のグループ会社であるキー・ポイント株式会社（以下 キー・ポイント）は、メール共有管理システム「GrpMail（グループメール）」が、鹿児島県信用保証協会（鹿児島県鹿児島市、会長：川野 敏彦）に導入され、2025 年 11 月 1 日よりサービスを開始いたしました。なお、本システムの導入は、信用保証協会としては初めてとなります。

「GrpMail」は 21 年に亘り多くの企業に導入されており、近頃では金融機関から引き合いも増えております。安全でスムーズなメールによる情報共有を支えるサービスです。

今回の導入により、メールの送信ミスや情報漏洩リスクを大幅に低減します。さらに、キー・ポイントが提供するファイル転送サービス「WebFile（ウェブファイル）」との連携オプションを使うことで、PPAP 方式（注）でのファイル送信に替わる送信手段を実現し、金融機関の DX、業務効率化、セキュリティ向上に貢献します。

（注）PPAP 方式とは、メールで添付ファイルを送る際に暗号化 ZIP ファイルを送り、別のメールでパスワードを送る方法のこと。

■ 「GrpMail」導入の背景

近年の金融庁の監督指針では、デジタル化の推進とリスク管理の強化が強調されており、金融商品取引業者には、電子募集取扱業務の適正性、システムリスクの管理、および顧客資産の保護に対する詳細な指針が設けられています。これを背景に「GrpMail」の導入は、このデジタル化推進、リスク管理の一環として位置付けられています。

「GrpMail」では、営業店ごとの共有メールアドレス運用を可能にし、個人アドレス支給による情報の分散や隠蔽によるリスクを抑えながら、お客様との効率的なコミュニケーションを実現します。

鹿児島県信用保証協会では、共有メールアドレスの運用における対応の不透明さや、従来の環境による業務負担の増加、PPAP 運用継続によるセキュリティリスクといった課題を解決するため、メール共有管理システム「GrpMail」の導入に至りました。

■ 「GrpMail」の特徴と機能

「GrpMail」は、複数人で一つのメールアドレスを共有し、一元的にメール管理を行える革新的なシステムです。直感的に操作できるシンプルなユーザーインターフェースを備え、教育コストを削減しつつ、二重対応や対応漏れを防止します。タグ機能によりメールの分類が簡単にでき、返信待ちのメールも見逃すことなく管理可能です。「GrpMail」は 20 年の実績を持ち、安定したサポートと信頼性を提供するため、ビジネスの効率化に最適です。

■ 今後について

「GrpMail」はサービスの強化を進め、ユーザー基盤のさらなる拡大、そして日本のあらゆる企業の DX

の実現を目指してまいります。

キー・ポイントはすでに自治体や大手企業等へサービスを提供しており、2023 年 11 月にココペリグループとなったことで、ココペリが提携する全国の金融機関への紹介を進め、M&A によるシナジー効果も生まれ始めています。

今回、信用保証協会として初めて鹿児島県信用保証協会に導入されたことを契機に、今後は全国の信用保証協会への展開も視野に入れて取り組んでまいります。

また、現在も複数の金融機関で導入が決定・検討されており、引き続き「GrpMail」を金融機関や公的機関へ広く展開してまいります。